

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名：腹腔鏡下肝切除における病理学的切除断端陽性ゼロへの治療戦略-ICG 蛍光法を用いて-

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学病院において2013年1月1日から2019年8月31日までに、肝切除術を施行された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

全ての癌の手術において、病理学的切除断端陰性の獲得、すなわち根治切除実現の可否は生存率を大きく左右します。我々はこの問題を克服するため、腫瘍に蓄積したICGを近赤外線光により励起させ明確に視覚化するICG蛍光法を手術支援に応用してきました。さらに、我々は肝腫瘍周囲の発光領域が癌腫により異なることを先行研究で確認しています（論文提出中）。本研究は癌腫・病理学的特性の差異とICG蛍光領域の関連性を明らかにする事を目的とし、肝腫瘍の病理学的特性に基づき腫瘍周囲の蛍光領域を付帯情報とした適切な切除範囲の判断、根治手術の普遍的な提供を目指します。データはカルテ上のデータ及び切除標本の病理切片を用います。本研究は学術研究であり、昭和大学病院に入院中の患者データを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2022年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

データは診療録上のデータ（MRI、CT、超音波検査などの画像検査、身長、体重、年齢などの患者背景、血算、凝固検査、生化学検査、腫瘍マーカー、免疫学的検査など採血データ）及び手術で得られる切除標本のみを用います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部外科学講座消化器・一般外科学部門

氏名：平井 隆仁

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8000

研究責任者：平井 隆仁